

工学院履修登録・修了要件に関する Q&A

工学院のカリキュラムは教員会議において毎年検討し、その結果を学生便覧に反映しています。そのため、入学年次によって、履修方法や修得単位の修了要件への算入方法が先輩や後輩と異なることがあります。また、複雑な取り扱いもあるため、本項においてよくある質問を Q&A 方式でまとめましたので、履修登録の前後に必ずご確認ください。

Q1 【修士課程・博士後期課程共通】他学院・他学部の科目を履修登録するとエラーになってしまうのですが…。

A. エラーのまま登録を完了させてください。後日、教務課でエラーを解除します。申請希望理由欄への記入は不要です。

Q2 【修士課程のみ】情報科学院の科目を副専修として履修することを考えています。エラーの出る科目と出ない科目とあるのですが…。

A. 2019 年度に情報科学院に改組となったことにより、「情報科学研究科」と「情報科学院」のコードがあり、2019 年度以降の入学者は「情報科学研究科」の時間割コード(046XXX)で登録するとエラーが出ます。「情報科学院」の時間割コード(215XXX)で登録してください。

Q3 【修士課程 2023 年度以前入学者のみ】2023 年度入学者ですが、2024 年度入学者から他専攻の主専修科目、工学院の学院共通科目または他の研究科などの授業科目を「4単位」まで主専修科目に代替することができると聞きました。2023 年度入学者の取扱いはどうなりますか？

A. 2023 年度以前入学者は、他専攻の主専修科目、工学院の学院共通科目または他の研究科などの授業科目を「4単位」まで主専修科目に代替することはできません。入学時に配付された便覧に記載があるとおり、「2単位」まで主専修科目に代替することができます。

Q4 【博士後期課程一般コース 2019 年度以前入学者のみ】博士後期課程一般コースの 2019 年度入学者ですが、2020 年度入学者から工学院の英語開講科目(講義題目が“English”と表示される科目)も修了要件に算入されると聞きました。2019 年度入学者の取扱いはどうなりますか？

A. 博士後期課程の学生は 2019 年度以前入学者も講義題目が“English”と表示される科目を修了要件に算入することができます。また、成績証明書には 2019 年度以前入学者用の e3 コース

用科目名(通称 E 科目)で表示されます。

Q5 【修士課程 2021 年度以前入学者のみ】2021 年度入学の修士課程入学者ですが、2022 年度入学者から、自専攻の「○○○○特別講義」が主専修科目となると聞きました。2021 年度以前入学者の取扱いはどうなりますか？

A. 2021 年度以前入学者は引き続き、選択科目として取り扱われます。修了要件に算入する場合は、主専修代替手続きを行ってください。

Q6 【博士後期課程 2021 年度以前入学者のみ】2021 年度入学の博士後期課程の学生ですが、特別講義は修了要件に算入されますか？

A. 博士後期課程の学生で 2021 年度以前入学者は、各専攻で開講している特別講義(自専攻の特別講義も含む)は修了要件に算入されない選択科目となります。

Q7 主専修代替手続および履修登録追加・削除のメールを送信しましたが、教務課からメールの返信がありません。手続きされているか心配です。

A. 原則、メールを送信しても、教務課からメール返信はありませんが、メールを送信してから、日祝日を除いて3日以内に手続きされますので、ご自身で履修時間割および成績照会画面が更新されているか、ご確認ください。日祝日を除いて3日経過しても履修時間割および成績照会画面が更新されない場合、お手数ですが大学院担当(k-gakuin@eng.hokudai.ac.jp)にお問い合わせください。